

2016年10月吉日

山元町町長 齋藤 俊夫 様

山元町指定文化財「豊臣秀吉ゆかり茶室（通称）」の修復と保存を求める要望書  
及び 山元「いいっ茶」組設立・活動要旨表明書

ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO

山元「いいっ茶」組

代表 清水ますみ 印

〒989-2202

宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 30-2

ポラリス「こう・ふくアトリエ」内

私達山元町民は、山元町坂元字館下 119-2 にある、町指定文化財の「茶室」（通称「豊臣秀吉ゆかり茶室」）を目にする時、老朽化と損傷で荒廃が加速するその姿に、深い心の痛みを感じざるを得ません。

町民には長年の愛着ある茶室であります。さらに、東日本大震災により多くの歴史的建造物が失われた中、震災をのり超えて残された、町の歴史を伝える貴重な文化財と認識しております。町復興の兆しも見えてきたからでしょうか、茶室が元の姿に戻ったら私達も町も、もっと元気になれるという思いも湧いて参ります。

そこで私達は、茶室の修復と保存の実現に向けて活動する会として、

ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO 山元「いいっ茶」組

を設立いたしました。町内から聞こえてくる茶室への思いや、保存を願う声、修復や活用についての意見やアイデアを結集し、役場の皆さまとご一緒に、実現に向けて活動を始めたいと思います。

つきましては、山元「いいっ茶」組は、以下を要望し、活動の要旨を表明いたします。

【要 望】

町指定文化財の「茶室」の修復と保存を要望いたします。

特に、早急の要望として、

- ・茶室損傷を防ぐための防護策（カバーシートなど）を早急にこうじること
- ・防護していることを説明するボード（立て看板）を、茶室前に設置すること
- ・専門家による茶室来歴や建築物としての検証・調査を、即、開始すること

## 【活動要旨】

おりしも、震災後の文化庁の「東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）」による調査で茶室修復の助言がなされ、調査された専門家の方々を中心に、早急な修復、保存、活用、実現の為に、技術面、資金面、活用面など様々な角度から山元町をサポート・応援する「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」が設立されるとお聞きしました。ここには、専門的で広い視点での「茶室」の歴史的意義についての示唆もあり、山元町民として改めて、茶室の修復と保存に向けた活動が、責任の重いものであることを痛感した次第です。

山元「いっ茶」組は、「大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会」の山元町発起人としても登録し、アドバイスも頂き、連携しながら活動させて頂く所存です。

今後以下の活動を行い、町役場に協力させていただきます。

- ・ 修復・保存を求める声を、町内外から広く集めて、町役場に随時お届けします
- ・ 資金調達においては、募金、助成金、寄付、ファンドなどを多角的に検討して、協力いたします
- ・ 町民への茶室に関する情報の発信（勉強会、講演会、チラシなど）を積極的にこなします
- ・ 町役場と情報交換、話し合いの機会をつくり、着実な進捗に協力します
- ・ 保存後の活用・維持について、意見やアイデアを集め、実現可能な具体的活用策を提案し、町の活性化に寄与いたします

以 上

## ゆかりの茶室にひかりを当てるっちゃGO 山元「いっ茶」組

\* 五十音順

岩佐大輝（農業法人(株)GRA 代表）

庄司アイ（やまもと民話の会）

早坂文明（曹洞宗 光明山 徳本寺 住職）

三浦寛也（コロンビア大学日本文化イニシアチブ芸術監督・  
ベイツ大学准教授作曲家）

連絡先：代表 清水ますみ

〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 30-2

ポラリス「こう・ふくアトリエ」内

電話：090-2528-6107

Email:naf02761@nifty.com